

童話 蜂鳥の恩返し

(二) 松本高信

「オヤ」

二人は立ち上りました。

「こ、です、わたしですよ」と云ふ声に二人はその方を見ますと、

まあどうでせう、それは小さなほ

名のやうに蜂位の大ささを持つ

た蜂鳥でございました。

割合に長い嘴を持つた蜂鳥の翅

は黒い墨に碧を混ぜたやうに、そ

して玉虫色に輝いて居りました。

京太郎は吃驚しましたが沈着いて

「どうしたつてんだい君、何か用

かね」と聞くと、蜂鳥は巣の中か

ら身體を起して、さも困つた様な

風をいたしました。

蜂鳥の巣は、細い茅の屋根から

こぼれたその葉先に、酸漿などの

大きさに造られて、その中に大豆

位の卵が二つ入つて居りました。

風が吹くとまるで飛行船の吊籠の

やうに、フラフと揺れるのでし

た。

「京太郎さん、助けて下さい、お

情けでございます」

蜂鳥は泣声でこう申しました。

「なみくの暴れ子供だつたらす

ぐ棒片れを振り上げて一たまりも

なく、その巣も卵も叩き潰して仕

舞ふ處なんでせうけれ共、

生物は大事にせよ」とつねく

お母さんから訓へられて居ります

から

「どうしたんだい君、僕に出来る

事なら何でもしてやるよ」と答へ

ました。すると蜂鳥は

「實は私の巣をかけた此の茅の葉

を甲虫が喰ひかけて、もう半分も

切りました。もう暫時すると、私

の大事な卵は地面で潰れてしまひ

ます、ですからどうぞ、あの甲虫

を追拂つて下さいませ」

とこう申しました。

二人は茅の元を見ますと、成程

一匹の甲虫がゴリゴリと鋸のやう

な歯で茅の葉を喰んで居りました

京太郎は早速棒片れでその甲虫を

突くと、それはブンと音をたて

何處ともなく逃げて行つてしま

ひました。
ホット安心した蜂鳥は
大事な卵も無事で済みました、こ
んな嬉しい事はありません」

度も幾度もお禮を申しました。

△聖州歌壇▽

我

竹窓散士

わが面おとせかどみ寂しくてあく

うるめるひとみもさむし

幸を得ず長旅路に今はたゞサバクの

ごと荒びてあるわれ

消え失せし情熱の日を夢に描く忘却の

上にほぶ微なる香

わが胸の小さき幸はことごとく昔れに

さからひ空に化しゆく

旅のみに疲れ果てたるわが心懲しき故

われ獨り相手はなくて書と弄ぶ時雨る

音のせはしくもある

天分と思へばわれにはなし心のま

にこ舞してゆけ

われば光明なし

幸をもとめて登るときはしもはし近く

馬の戸が閉されて

おまえさんの家の戸は開かない。

胸の戸が閉されて

おまえさんの戸は開かない。

あら雲が笑つて走ること。

三、會へぬ夜

お月さまがわらふだろうと思つても

餓えた大ころみた様に

私はおまえさんの家のまえを

行つたり來たりしましたよ

いま三度したら、あと三度したら

と往つたり來たりしましたよ

まだも開かない

夜露で着物がグツシャリになつて

もう三度したらと

お月様がわらふだろうと思つても

いつたり來たりしましたよ

お月様がわらふだろうと思つても

もう三度したらと

お月様がわらふだろうと思つても

珈琲六ヶ年
契約者募集

位置はノロエーステ線にて今尚

盛んに開けつゝあるベンナ當

駆より五キロメートルを離る

健康地であります

御希望により四ヶ年契約

の御相談にも應じます。

▲御願ひます。左記へ御照會

北西線グアランタン驛

作田益太

M. SAKUDA

Sítio Barra Grande

Guarantã—Nordeste

リゾンテ

かに境して分れて居るカムボのオ

野眼に明け初めにけり大廣

野眼に見ゆるもの皆清くして

よぎり行く我汽車眺む田舎人く

さぎり居れる鍼の手止めて

延着が通例になつて居るのに、此

日はどうしたことか時間表通りに

正十時シャバンテス驛に着く。

Hotel Progresso

○○○○○○○○○○○○

館旅尾澤

前驛ルウ澤

七尾磯

北西線、リソス町、ルア、リオ、ブランコ二五

のスケッチを終つた。

られた奥さん迄とう／＼書中の人の

となる。この日は大晦日だ、高田

さんは空模様が悪いので黒ん坊の

カマラダと大汗になつて働いて居

られる、こちらは氣樂なものだ、

只ブトがやかましく耳はたに襲撃

するのを追ひながら、書近く一枚

のスケッチを終つた。

の

今迄の靜的美術館と異なり動的美術館として特色を示す計畫。

豫てから百萬圓の豫算で、近代式の美術館
あつた大阪市立美術館は、此決定を見、敷地は住友男爵の寄附により市内茶臼山一部で東洋風の手法を加味して、建築式代式で建坪千二百五十六坪、總地下室一千三百坪、中央は聽衆千五百人で、得る大ホール、尙圖書館、今迄の靜的美術館と異なる美術館として特色を示す計畫

始め波状艇など四種の特許をとり
居る程の発明の天才である、此度
の機械は十七歳から手を着け初め
七年間の苦心研究の結晶と。

属病院で患者に実験した處好成績を収めたので、近く命名の上特許を出願すると云ふ。発明者關口君は東京高工徒弟部を中途退學した

がる道である。心臓の音調の高さで、
伴て傍にある置時計の指針が震
動し、同時に音響を發して紅い電
燈が點りそれによつて其人間の感
情を測定するもので、如何に秘し

得ると云ふ面白い機械を發明した
一青年がある。千葉醫大汽鑄部職
工の關口進(二四)君がそれだ、此
機械は特別の裝置の施してある金
屬製のワクを胸に挿み、それに電

知り得る機 是迄四種の特

知り得る機械の發明

是迄四種の特許をとる發明の天才關口青年

を送り、トンネル宛ら穴の中の生活で、二月九日地上一丈一尺八寸の積雪を見引續き降り頻り、新聞は配達する者なく、食糧缺乏に高田聯隊が出動炊出しをなし、郵便物は高田局に山積し全く孤立せるものゝ日々見えてゐる。

縣協會で移住地を購入致しました、五月から入殖出来ます、内地よりも参りますが御希望の方には何誰でも御分ち致します、希望の方は左記へ御通知下さい、

熊本縣海外協會 M. KANETAKE 金竹盛香
Fazenda Villa Nova

Est. Lussauvira L. Noroeste

MARCENARIA
JAPONEZA
Massagi Koga
BAURÚ
▼
家 具 製 造
並
古 賀 政 次
販 賣
市八月一日街六ノ三番
(シネーマ真前)

由本
寫真館

北西紀リニス市お寺廣場松岡
本田安喜

ARIA
Silhar
ada
l, 12
Noroë
~~~~~  
卸  
菓子  
製造所

**CONFEITARIA,  
Bar e Bilhar  
G. Hanada**

Caixa Postal, 12  
PROMISSAO Noroeste

---

玉突臺、上等和洋酒、清涼飲料

御菓子製造所

御進物用 —— 日本菓子は上品に且おいしく  
宴會用 —— 調製各位の御用命に應じ申候  
北西線ブロツソン驛函函十二番  
花 田 郡 藏

ASA  
OKIO  
家具商力一ザ東京  
材木

The logo for Casa Tokio, featuring the word "CASA" above "TOKIO" in a bold, sans-serif font, all contained within a rectangular border with rounded corners.

木林商力一ザ東京  
家具 聖市、ルア、バロノ、デ、イタベチ、シガニ〇  
杉本芳之助

アラサー巴驛唯一の邦人宿

# 御旅館 伊藤

館主 伊藤作太郎

第一回

富士山醤油醸造元  
藤澤豊次郎

## 支那の内乱雑報

支那は支那国民のシナ

日本は一切干渉せず

△南京港頭獅子砲台に廣東軍の大砲門楊子江上淀泊の英米軍艦に照準し威壓して居る。

△吳松市の人民群衆は英米軍艦が南京を砲撃して二十萬の支那同胞を殺害したと宣傳ビラを撒き、外人排斥をいやが上にも高潮して居る。

△英人等は南京を退去した、同市の租界を遺棄する積り。

△國民軍司令官は上海支那人市街にも戒嚴令を布いて一方同市民の鎮撫を計つてゐる。

△國民軍總司令將介石將軍は、各國政府に向つて支那は支那國民の支ナとして甦生する時期である故孫逸仙氏が清朝を倒した理想もこゝにあつた。此際列國は租界を支那に戻してくれると電報を打つてゐる。

SEMANARIO DE SÃO PAULO

日一月四年二和昭

號四十七百二第

-(5)-

支那は支那国民のシナ

日本は一切干渉せず

△南京港頭獅子砲台に廣東軍の大砲門楊子江上淀泊の英米軍艦に照準し威壓して居る。

△吳松市の人民群衆は英米軍艦が南京を砲撃して二十萬の支那同胞を殺害したと宣傳ビラを撒き、外人排斥をいやが上にも高潮して居る。

△英人等は南京を退去した、同市の租界を遺棄する積り。

△國民軍司令官は上海支那人市街にも戒嚴令を布いて一方同市民の鎮撫を計つてゐる。

△英人等は南京を退去した、同市の租界を遺棄する積り。

聖市青年會の  
兩語大講演會

イグレージヤ

サンベントにて

各地殖民地に青年會の設立を見

入るは東洋に於ける白人の生命財

産を保護する爲めである、若し支

那に英軍が派遣しなかつたなら白

人等は恐らく支那人に皆殺戮され

たであらう、支那南軍が堅固な誠

意ある政府を成立させ、他國と通

商に到るまでには長期日を要する

が、それ迄英國は租界を遺された

と。

△マルチンス殖民民會社

アグアリソニ

桑苗、蚕種等の斡旋は全部同社に

て來た昨今、豫てソロカバナ線の

各地殖民地大處女林を大々的に賣出

益々發展しつゝあるに、在伯同胞

の中心ともなるべき聖市に青年會

を派して南京の英國被害状態を調

査させ中の由。楊子江沿岸外人動

加艦隊比ツブルグ號に、國民軍總

司令將介石を招きて小宴を張れり

と。又楊子江を境界として南北支

支那形勢

